

令和5年度第3回村山地域保健医療協議会(村山地域医療構想調整会議)議事概要

【開催日時】 令和6年3月8日(金) 午後7時から午後7時40分まで

【開催方法】 オンライン開催 (Zoom ミーティング)

事務局会場 村山保健所大会議室

【出席者】

出席者名簿のとおり

※委員36名のうち29名出席(うち代理出席8名)

【内容】

1 開 会

2 あいさつ(山形市医師会長 金谷会長)

3 報 告

(1) 在宅医療専門部会の開催状況

(2) 病床機能調整ワーキングの開催状況

村山保健所長 藤井部会長から資料1・2により説明。

○主な意見・質疑等

特になし。

4 協 議

(1) 地域医療構想の検証等について

- ・地域医療構想の検証、見直しの進め方
- ・村山地域の病床数の推移等
- ・病床利用率の状況
- ・西村山地域医療提供体制検討WG中間報告書

(2) 地域医療構想の推進に関する意向調査(R5.10月)

- ・将来の機能別病床数、自院の役割、診療機能
- ・非稼働病棟への対応

(3) 公立病院経営強化プラン

- ・各病院のプランの概要

事務局から資料3・4・5により説明。

○主な意見・質疑等

病棟利用率70%未満の主な病院より、各病院の状況について説明あり。

- ・コロナ以降、患者数が減少しており、最近は戻りつつあるが、コロナ前までの数値には戻っていない。
- ・看護師不足による病棟の一部閉鎖、あるいはコロナ患者受け入れのため病床数を減らしていたこと、コロナクラスター発生による入院制限等の影響もあり、病床利用率が低下していた。

- ・人口減少により、入院患者数も減ってきている。

(山形大学大学院医学系研究科医療政策学講座 村上教授)

- ・今後更に人口が減少し、患者数も減少、スタッフの確保が更に困難になるという状況がある中で、地域の中での患者像や果たすべき機能、ニーズの量的な見通しを踏まえ、持続可能性を確保するという観点から、許可病床数や病床の機能を見直していく必要がある。
- ・それぞれの病棟が果たしている機能を正しく評価することや、地域全体で患者の医療ニーズも大きく変化している中で、どういう役割分担と連携を構造的に構築していくのかを疾患や診療機能の特性に応じて検討するということが必要。

5 その他

事務局（保健企画課医薬事室 佐藤専門員）より、来年度以降の村山保健所が取り組む事業として、村山地域災害医療連絡調整会議、及び、小児救急医療についての意見交換の場の開催について説明。

6 閉 会